



イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：300千円

## 「科学」に関する啓蒙的イベントの試行

### 目的・趣旨

学生に対して、科学に接する機会を設け、科学に興味を持たせることは、大学として大きな意義がある。本学は一般的な総合大学に比べて、科学に関する科目の開設が少ない。そこで、今後本学において科学教育の機会を充実させていくための準備として、科学に関するイベントを試行的に実施する。

### 日時・場所

平成31年3月28日から令和元年6月13日  
静岡文化芸術大学 図書館内

### 体制

(実施代表者) デザイン学部 デザイン学科 教授 的場 ひろし

### 共催・後援等

## 内容

科学の展示のテーマとして「電磁波」を選び、図表の掲示と、関連図書の陳列による展示を実施した。電磁波は、電波、赤外線、光、紫外線、X線等、様々な様相をみせるが、これらは全て電磁波という一つの現象を波長の違いで区分したものである。電磁波の持つ多様な面を一望するために、本学の近隣に位置する静岡大学、浜松医科大学の専門家の協力もいただき、縦軸を電磁波の波長、横軸を時間軸（人類の発見・発明の歴史）として、電磁波に関する様々なトピックスを配置した二次元の横長図表を制作、展示した。



## 結果・成果

電磁波に関する横長図表（約7m×約1.2m）を制作し、図書館内の展示スペースに設置した。また、図表の手前にテーブルを置き、図表に描かれたトピックスに関連する図書館蔵書50冊の陳列を行い、図表を見て興味や疑問を抱いたポイントについて、書籍を手にとってより深い知識を得ることを可能とした。また、図書館内スペースでの展示としたことによって、図書館に配架されているさらに専門的な関連図書にも容易にアクセスできるというメリットも得られた。本展示は、多くの図書館来館者（本学学生、教職員、一般市民）に興味を持っていただくことができた。31年度の新入生等の新たな図書館利用者に対しても本展示をアピールするために、31年度の6月まで引き続き展示を行う予定としている。

